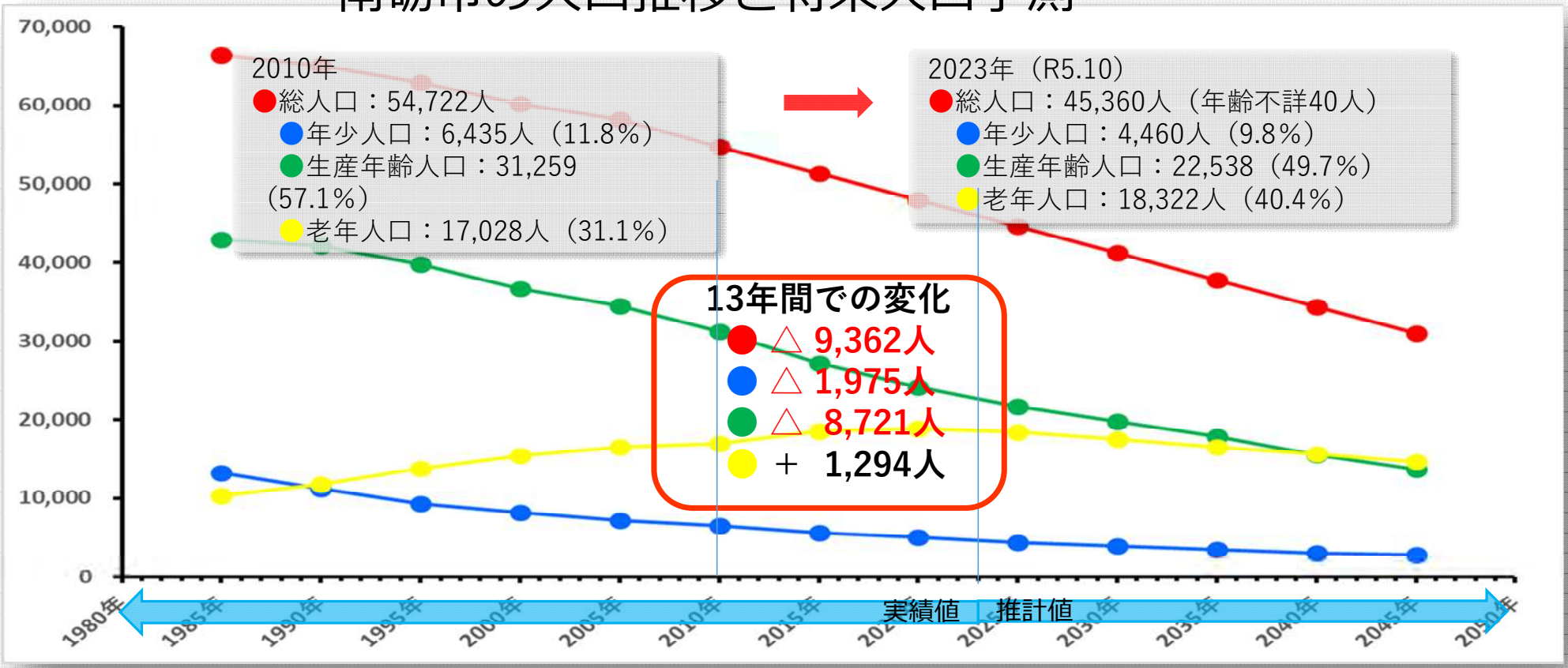
SDGs 未来都市
なんと

南砺市の人口

年間約720人のペースで進む人口減少

南砺市の人口推移と将来人口予測



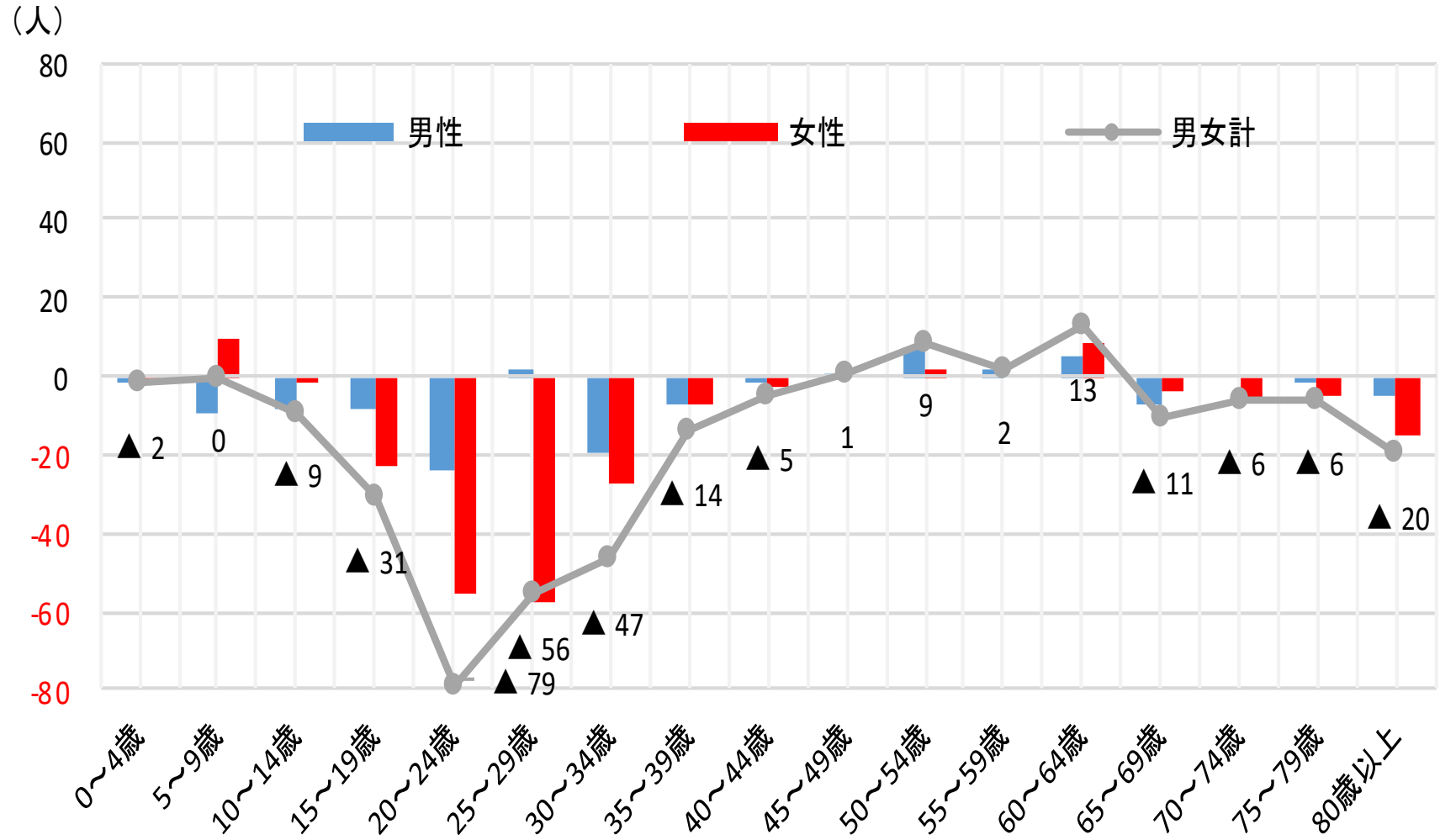
出典：国勢調査（実績値H27.R2)、富山県人口異動調査、社人研推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の背景　若者の転出増・転出超過現象

【南砺市の社会動態（転入、転出）の年齢別内訳】

出典：住民基本台帳より作成（2018.10～2019.9）



SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

- ▶ 令和２年度から取り組み開始！　市民向けキックオフセミナー
- ▶ 主に事業所経営者や人事担当者向けセミナー

R3.3.30（令和２年度）
働き方改革推進フォーラム

多様な人材が、
働きがいをもって
活躍できる南砺市へ

R3.12.20（令和３年度）
働き方改革推進セミナー

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

- 令和４年度　<u>主に事業所の経営者や人事担当者向け</u>
- ジェンダー平等の視点を取り入れたセミナー

SDGs 未来都市
なんと

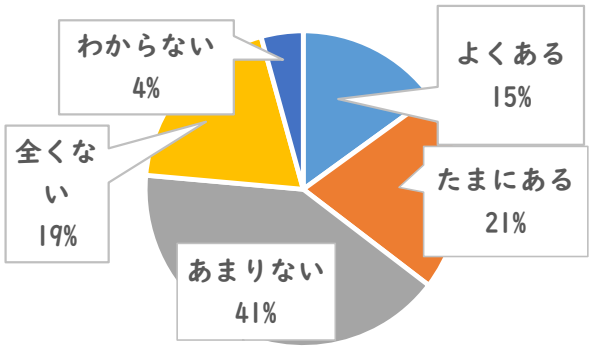
「ジェンダー・ギャップ」の現状

南砺市の子育て中の若者を取り巻く環境

■若者・子育て世代向けアンケート結果
■南砺市内在住の若者・子育て世代373名　■実施期間：令和5年11月

①性別による不平等を感じるときはありますか。

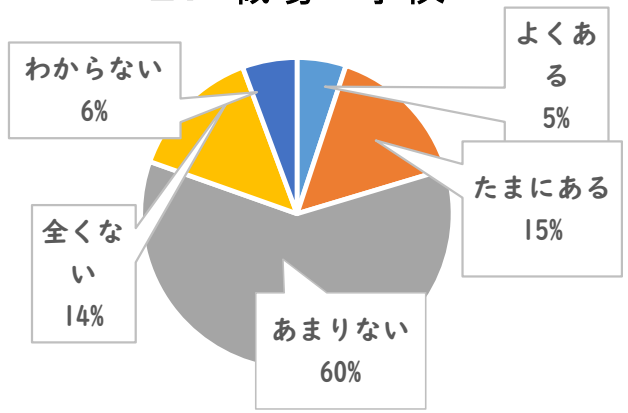
1．家　庭



36.0%↑
（R4 34.6%）

	人	%
よくある	56	15%
たまにある	76	21%
あまりない	153	41%
全くない	72	19%
わからない	16	4%
計	373	100%

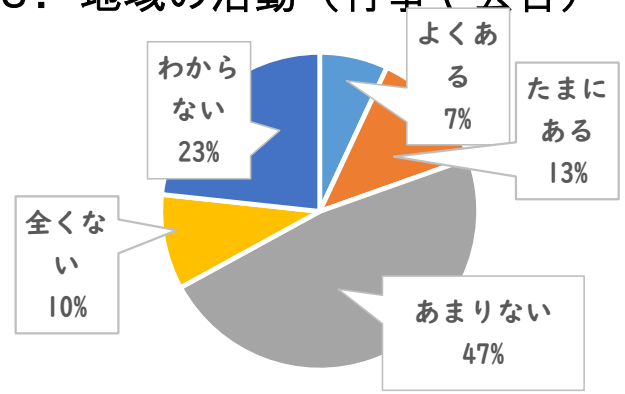
2．職場・学校



20.0%↓
（R4　26%）

	人	%
よくある	19	5%
たまにある	57	15%
あまりない	224	60%
全くない	52	14%
わからない	21	6%
計	373	100%

3．地域の活動（行事や会合）



20.2%↓
（R4 21.7%）

	人	%
よくある	26	7%
たまにある	47	13%
あまりない	177	47%
全くない	36	10%
わからない	87	23%
計	373	100%

↑（R4　21.3%）

そもそも、地域活動に参加していない？！

SDGs 未来都市
なんと

「ジェンダー・ギャップ」の現状

南砺市の子育て中の若者を取り巻く環境

■家庭での不平等感

- 家事育児は女性が中心にやるものだという意識が社会的にも家庭的にも根強くある。
- 嫁だから〇〇すべき、という義両親の圧を感じる。
- 共働きでフルタイム勤務しているのに、家事負担はすべて女性が担っている。
  それについて当然のように振る舞い、役割分担をする意志がない。
- 家事をしないのに家計の負担は変わらず結婚している意味がない。
- 年配の家族の男尊女卑発言が多いとき。

◇どのような変化が必要か

- 父親も子どもの食事やお世話に自ら係わってくれるといい環境になると思う。
- 年配の家族も男女平等を理解してくれるといい。
- 男性同士の会話する機会などあれば他の家の情報も耳に入りいいのかなと思います。
- 地域的に男尊女卑が根強い地域であるのだから、融通のきく社会の在り方を検討した方がよいのではないか。
- 急にいなくなるだけの費用（お金）。または母である私の死。

※若者・子育て世代向けアンケート結果

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

令和４年度の事業から見えた課題

地域・家庭における固定的な性別役割分担意識

地域向け男女共同参画勉強会から、固定的な性別役割分担意識の強さが見られた。

地域や家庭における性別役割分担意識の見直しをいかに進めるか？

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

- 令和５年度　地域・市民向けセミナーの開催
- 先進地「兵庫県豊岡市」の取り組みからの学び

R5.9.8
地域向けジェンダーギャップ解消セミナー
参加者約60名

R5.11.7
地域向けジェンダーギャップ解消セミナー
地域づくり協議会合同開催
参加者約60名

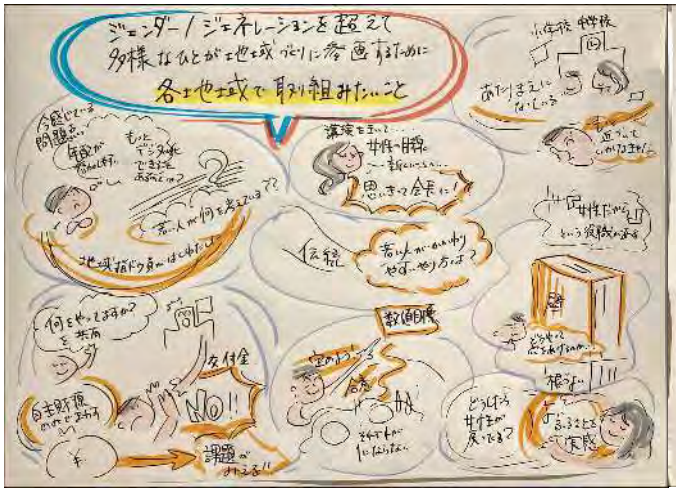
R6.2.4
地域向けジェンダーギャップ解消セミナー
小規模多機能自治　第２回各地区取り組み発表会同時開催
参加者約150名

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

〈地域向けセミナー参加者の意見〉

- ✓ 女性（特に若い方）の参加が少ない。自治会役員になる女性を発掘するには！どうしたらいいのか！
- ✓ 地域にも定年制らしきものを設け、積極的に若い世代に役職についてもらう。長老は顧問として関わる。
- ✓ 女性だけが戻らないのではない。男性も戻らない。長男であっても都会で世帯を持って子供を作っている。地元は独居老人も多い。
- ✓ 行政が中心になって女性活躍・ジェンダーギャップを解消していく方策をつくっているところがある（兵庫県豊岡市）ので、取り入れて行きたい。



SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

■事例紹介＆パネルディスカッション
「性別/世代に関係なく支え合う地域づくりを目指して」
コーディネーター：小安 美和氏（株式会社Will Lab）
（地域概要説明）
豊岡市ジェンダーギャップ対策室　　得田 雅人氏
（パネルディスカッション）
コミュニティ城崎　会長　　宮下　隆司　氏
地域マネージャー　　岸本　みち江氏

R6.2.4　地域向けジェンダーギャップ解消セミナー
小規模多機能自治　第２回各地区取り組み発表会同時開催
参加者約150名

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

地域づくり協議会や自治会の意思決定層に女性がいない背景について、課題が可視化された。

- ✓**慣習として「世帯主(＝男性)」が持ち回りで役職についている。**
- ✓**男女で経験や知識が異なる(＝固定的な性別役割分担意識)。**
- ✓**女性自身がやりたがらない…など**

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

R6.3.14　地域づくり協議会　円卓会議
対象：地域づくり協議会の役員や各地区の自主防災組織の関係者
講演：「誰一人取り残さない避難所運営　みんなの力で」
講師：小山内　世喜子氏
（防災士として、防災教育や女性防災リーダー育成に奔走。
一般社団法人男女共同参画みらいねっと代表理事。）
参加者：約100名

■女性のリーダーの育成が必要
- なり手がいるか？尻込みする？
- 多様な避難者の為に、多様なスタッフが必要

■女性スタッフの増員　メンバーの半分は女性とする。

■一人だけのリーダーではうまくいかないことが分かった。みんなの意見を聞きあう事が大切。

■炊き出しは女性担当と思っていたが男性も担当すればよい。

■女性の意見を聞く事により男性だけではわからないことがある

■日常生活も災害時も同じ様に活動できるよう日頃からの訓練が必要。平時がそのまま非常に反映されることにびっくりした

■リーダーは男性に限らず、女性がリーダーとして運営してほしい

■〇〇がすべきは古い！！
頭を柔らかく対応する力が大事。

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

SDGs 未来都市
なんと

R6.3.19　３１地域づくり協議会　全体会議

地域のシニア層が次世代を応援したいと思うようになってきた。

地域づくり協議会トップ達が

「地域におけるジェンダー問題の解決に取り組む」と宣言

■自治会役員に女性の登用を目指そう！

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の働き方・ジェンダーギャップ解消への取り組み

▶ 令和５年度　南砺市職員管理職対象の人事研修の開催

〈研修参加者の意見〉

- ✓ 現場仕事は男性という決めつけがある
- ✓ 女性はこれ！男性はこれ！といった決めつけを無くす
  →地道な啓発、研修等が必要
- ✓ ギャップ解消のメリットが理解されていない
  →成功事例等の分析
- ✓ 女性の管理職が少ない
  →キャリアについて面談等を重ねる
- ✓ 男性の育児休暇が取りやすい環境づくり

R5.11.7
ジェンダーギャップ解消研修
管理職向け　参加者約80名

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

令和５年度の取り組みの総括

地域の次世代が考える未来の地域のありたい姿が言語化された。（ワークショップ）

ありたい姿を実現するために必要なことが可視化されたが、具体的なアクションプランに落ちていない。

地域のシニア層が次世代を応援したいと思うようになっている。

SDGs 未来都市
なんと

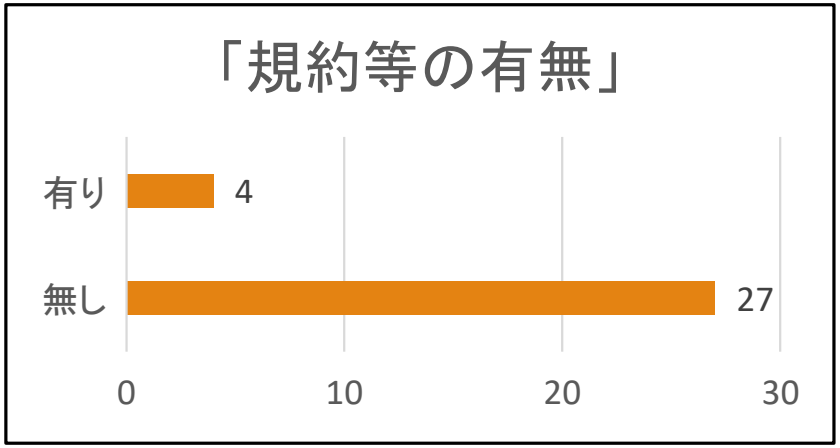
南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

「ジェンダーギャップ対策･婚活若者係」を設置

「地域におけるジェンダー問題の解決に取り組む」

地域の現状･認識を把握分析し課題の抽出

⇒地域づくり協議会へヒアリング調査



SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

「女性がなりたがらない」問題をなくす

「南砺イノベーション講座2024」の開催

⇒女性のマインド＆スキルアップ講座

⇒女性たちの繋がりの構築強化

⇒女性の活躍を受け入れる地域風土の醸成

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

「南砺イノベーション講座2024」（受講生15名）

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

ジェンダーギャップ対策へ具体的なアクションの創出

「南砺市ジェンダーギャップ解消市民会議」の設置

⇒南砺市のジェンダーギャップ対策に必要な施策や対策を検討し、市へ提言提出！！

⇒主に『地域』でのジェンダーギャップ解消に重みを置いた内容

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

ジェンダーギャップ対策へ具体的なアクションの創出

「南砺市ジェンダーギャップ解消市民会議」の設置

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

南砺市職員管理職対象の人事研修の開催

「男性育休推進を起爆剤としたこれからの職場づくり」

ＮＰＯ法人ファザーリング・ジャパン副代表

（株）日本ギャップ解決研究所所長　塚越学

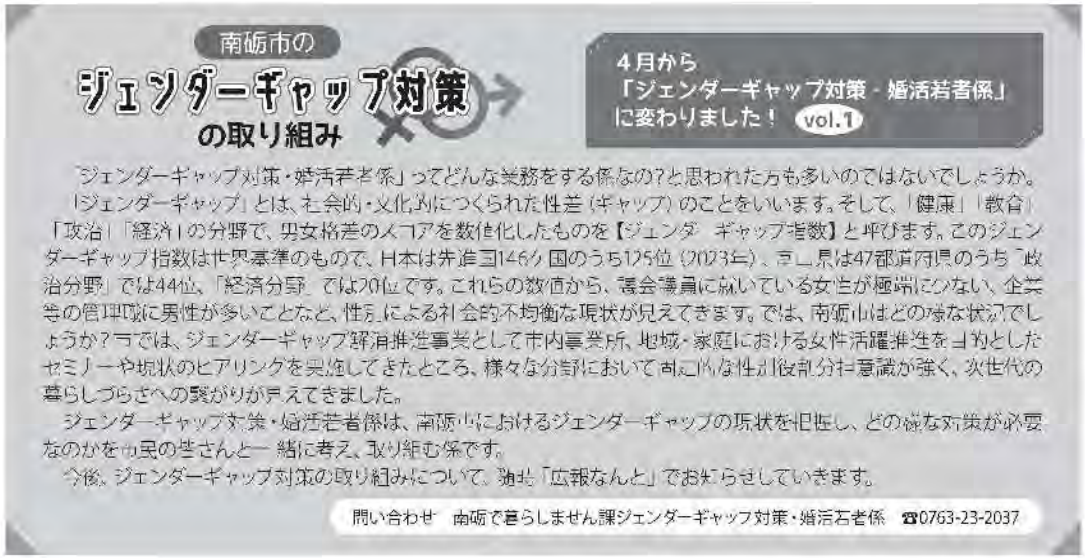
R6．１２．６
ジェンダーギャップ解消研修
管理職向け　参加者約６０名

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

ジェンダーギャップ対策の取り組みの周知

「ジェンダーギャップ対策の取り組み」毎月市報連載



南砺市の
ジェンダーギャップ対策
の取り組み

4月から
「ジェンダーギャップ対策・婚活若者係」
に変わりました！ vol.1

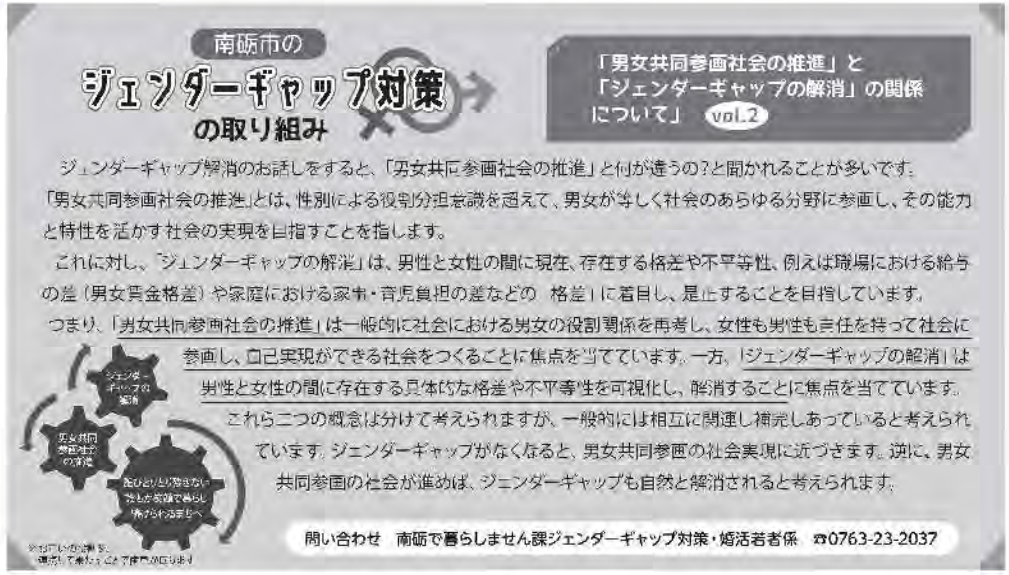
「ジェンダーギャップ対策・婚活若者係」ってどんな業務をする係なの?と思われた方も多いのではないでしょうか。

「ジェンダーギャップ」とは、社会的・文化的につくられた性差（ギャップ）のことをいいます。そして、「健康」「教育」「政治」「経済」の分野で、男女格差のスコアを数値化したものを【ジェンダーギャップ指数】と呼びます。このジェンダーギャップ指数は世界基準のもので、日本は先進国146カ国のうち125位（2023年）、富山県は47都道府県のうち「政治分野」では44位、「経済分野」では20位です。これらの数値から、議会議員に就いている女性が極端に少ない、企業等の管理職に男性が多いことなど、性別による社会的不均衡な現状が見えてきます。では、南砺市はどの様な状況でしょうか？では、ジェンダーギャップ解消推進事業として市内事業所、地域・家庭における女性活躍推進を目的としたセミナーや現状のヒアリングを実施してきたところ、様々な分野において特に男性が役割分担意識が強く、次世代の暮らしづらさへの繋がりが見えてきました。

ジェンダーギャップ対策・婚活若者係は、南砺市におけるジェンダーギャップの現状を把握し、どの様な対策が必要なのかを市民の皆さんと一緒に考え、取り組む係です。

今後、ジェンダーギャップ対策の取り組みについて、随時「広報なんと」でお知らせしていきます。

問い合わせ　南砺で暮らしません課ジェンダーギャップ対策・婚活若者係　☎0763-23-2037



南砺市の
ジェンダーギャップ対策
の取り組み

「男女共同参画社会の推進」と
「ジェンダーギャップの解消」の関係
について」 vol.2

ジェンダーギャップ解消のお話しをすると、「男女共同参画社会の推進」と何が違うの?と聞かれることが多いです。

「男女共同参画社会の推進」とは、性別による役割分担意識を超えて、男女が等しく社会のあらゆる分野に参画し、その能力と特性を活かす社会の実現を目指すことを指します。

これに対し、「ジェンダーギャップの解消」は、男性と女性の間に現在、存在する格差や不平等性、例えば職場における給与の差（男女賃金格差）や家庭における家事・育児負担の差などの「格差」に着目し、是正することを目指しています。

つまり、「男女共同参画社会の推進」は一般的に社会における男女の役割関係を再考し、女性も男性も責任を持って社会に参画し、自己実現ができる社会をつくることに焦点を当てています。一方、「ジェンダーギャップの解消」は男性と女性の間に存在する具体的な格差や不平等性を可視化し、解消することに焦点を当てています。

これら二つの概念は分けて考えられますが、一般的には相互に関連し補完しあっていると考えられています。ジェンダーギャップがなくなると、男女共同参画の社会実現に近づきます。逆に、男女共同参画の社会が進めば、ジェンダーギャップも自然と解消されると考えられます。

問い合わせ　南砺で暮らしません課ジェンダーギャップ対策・婚活若者係　☎0763-23-2037

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

男女共同参画推進員南砺市連絡会により、「男女共同参画カルタ」を刷新。いまだに固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が根強く残っており、一人ひとりが「自分ごと」として考えるきっかけとなることを目的としています。

新たに作成されたカルタは、地域の運動会、文化祭、イベントでレクリエーションゲーム等に活用し、男女共同参画の推進に役立てられることが期待されています。

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

「アンコンシャス・バイアス」（無意識の思い込み）の気づき

「避難所運営訓練研修会」の実施

⇒日常からの性別役割分担意識が、避難所設営に大きく影響

⇒地域の重要なテーマ「防災」の目線からアンコンシャス・バイアスへの気づきに

SDGs 未来都市
なんと

男女共同参画推進員、地域づくり協議会、南砺市防災こころえ隊など
約80人が参加。南砺市福野体育館を「避難所」と想定し、国籍・性別・障がいをお持ちの方、要支援者、子育て世帯など、様々な配慮が必要な場面を想定しながら訓練を実施。

SDGs 未来都市
なんと

南砺市の「働き方・ジェンダーギャップ解消」への取り組み

地域や家庭に潜む「アンコンシャス・バイアス」対策

「女性が地域で　ありたい姿と出会える コミュニティづくりワークショップ」の開催

⇒アンコンを知る・自分の中のアンコンに気づく

⇒生きづらさの正体は、もしかしたらアンコンかも？

⇒女性たちの繋がりの構築強化

⇒女性の活躍を受け入れる地域風土の醸成

SDGs 未来都市
なんと

今後の取り組み

なんと　く　か！
南砺で暮らしません課

多様な幸せを実感できるまちを目指して
～ジェンダーギャップのない、まちづくり～

「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」に気づき、もっと暮らしやすい地域へ！